

決算説明資料

2024年3月期 第2四半期



Listed Company 4241

2023年11月
株式会社アテクト

2024年3月期 第2四半期 業績総括

全社連結業績

(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減率
売上高	1,442	1,699	17.8%
売上総利益	680	763	12.2%
	47.2%	44.9%	
営業利益	95	127	33.1%
	6.6%	7.5%	
経常利益	125	141	12.4%
第2四半期純利益	98	104	5.1%

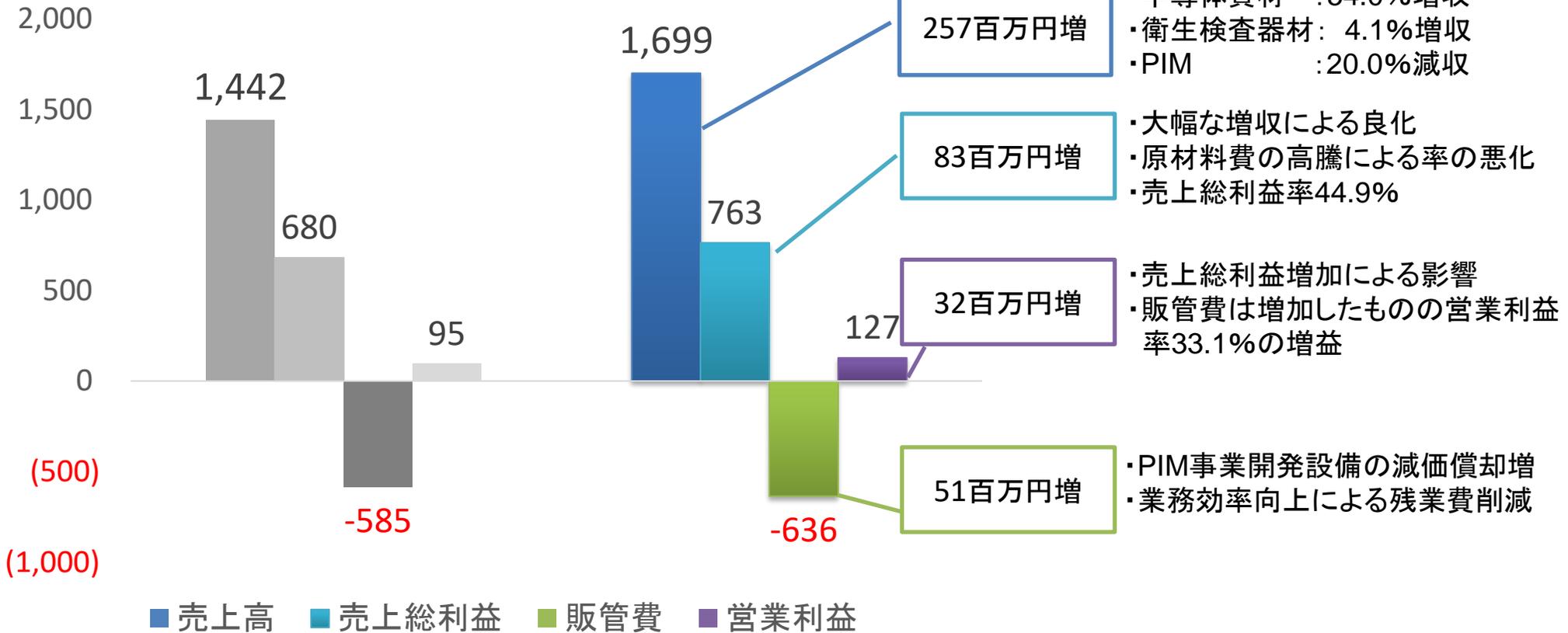
- 第1四半期決算に引き続き大幅な増収増益となった
- 急激な円安・韓国ウォン／台湾ドル高の影響により四半期純利益は通期業績予想値に達した

2024年3月期2Q収益サマリー

(単位:百万円)

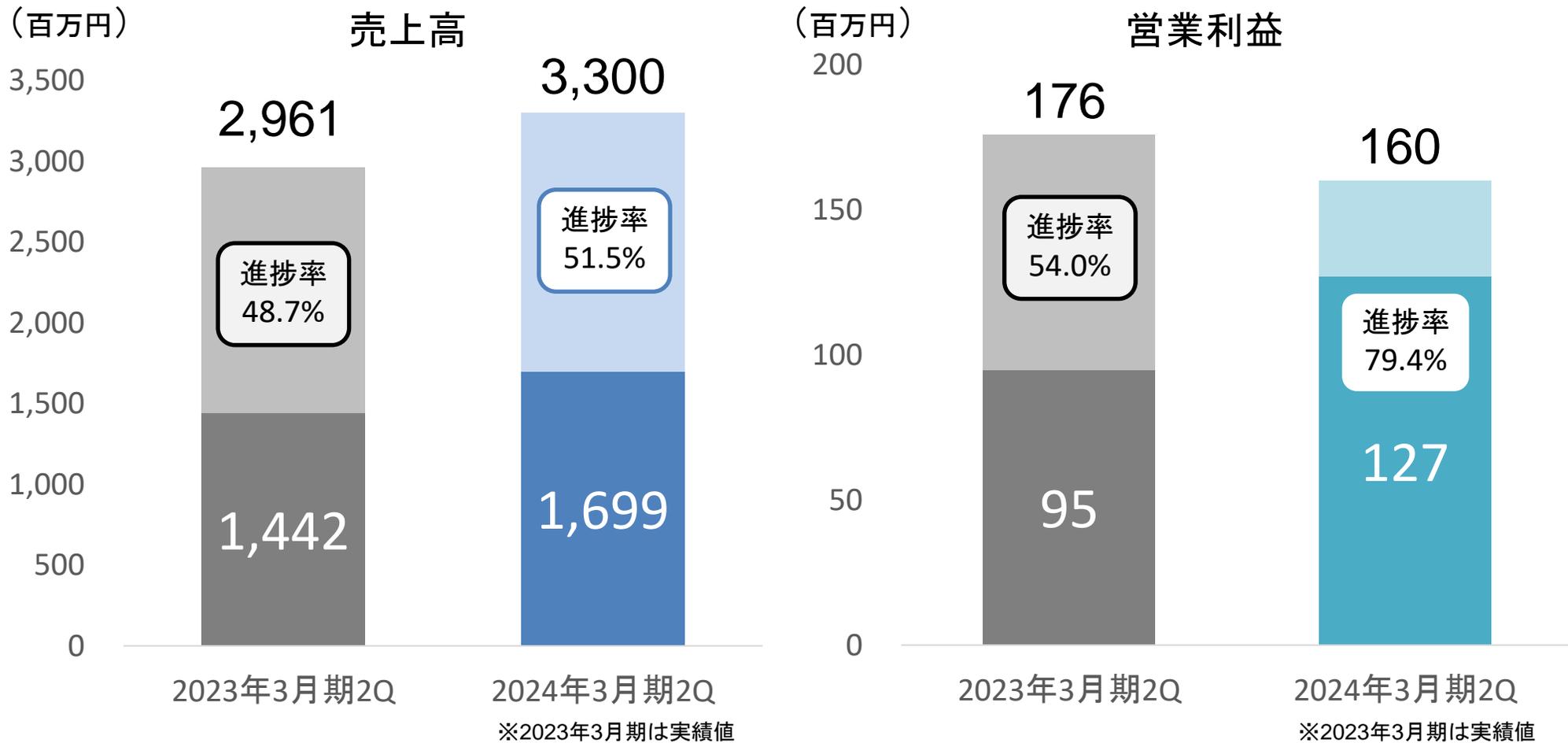
2023年3月期2Q

2024年3月期2Q



大幅な増収により、原材料費の高騰、減価償却費の増加を吸収して増益

今期計画に対する進捗

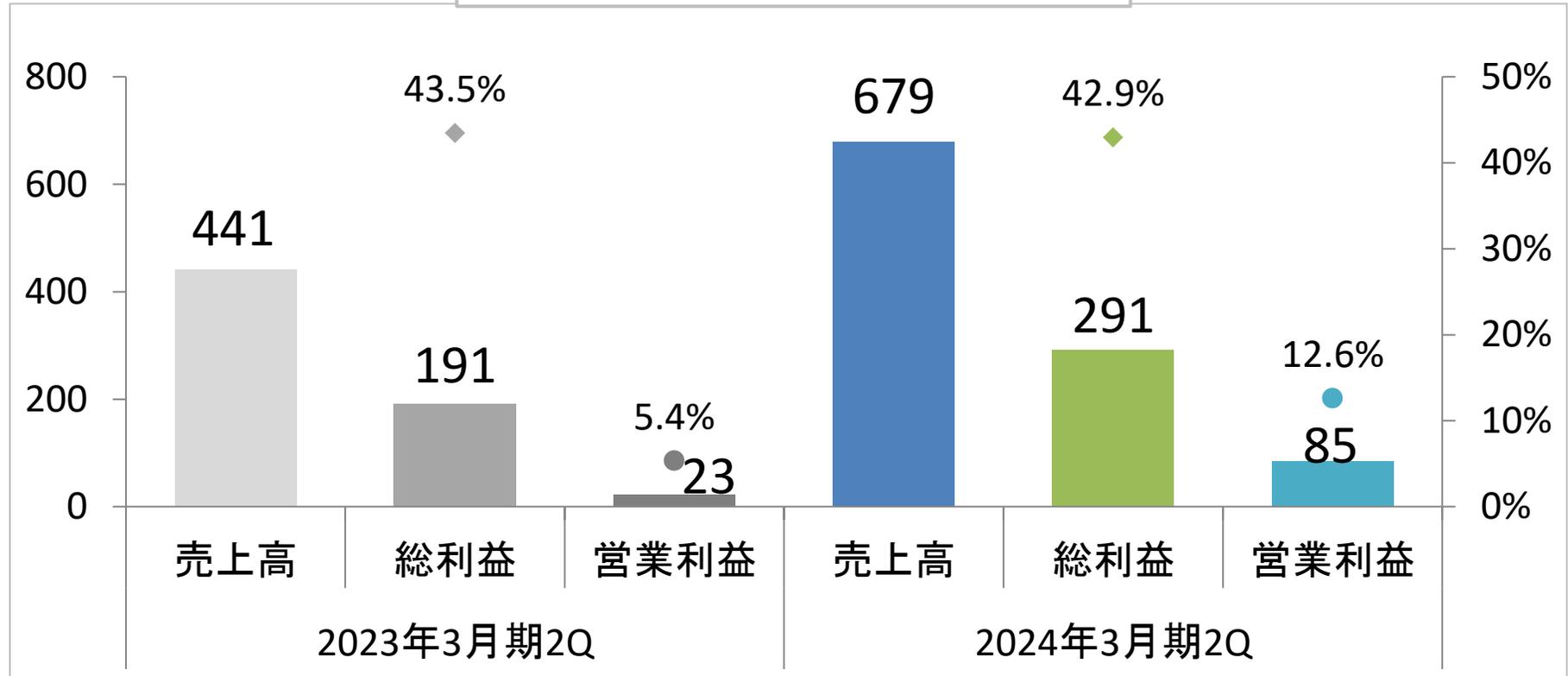


下半期の動向については為替や原材料価格、液晶パネルの需要動向など不確定要素があるため引き続き精査を行う

1. 半導体資材事業

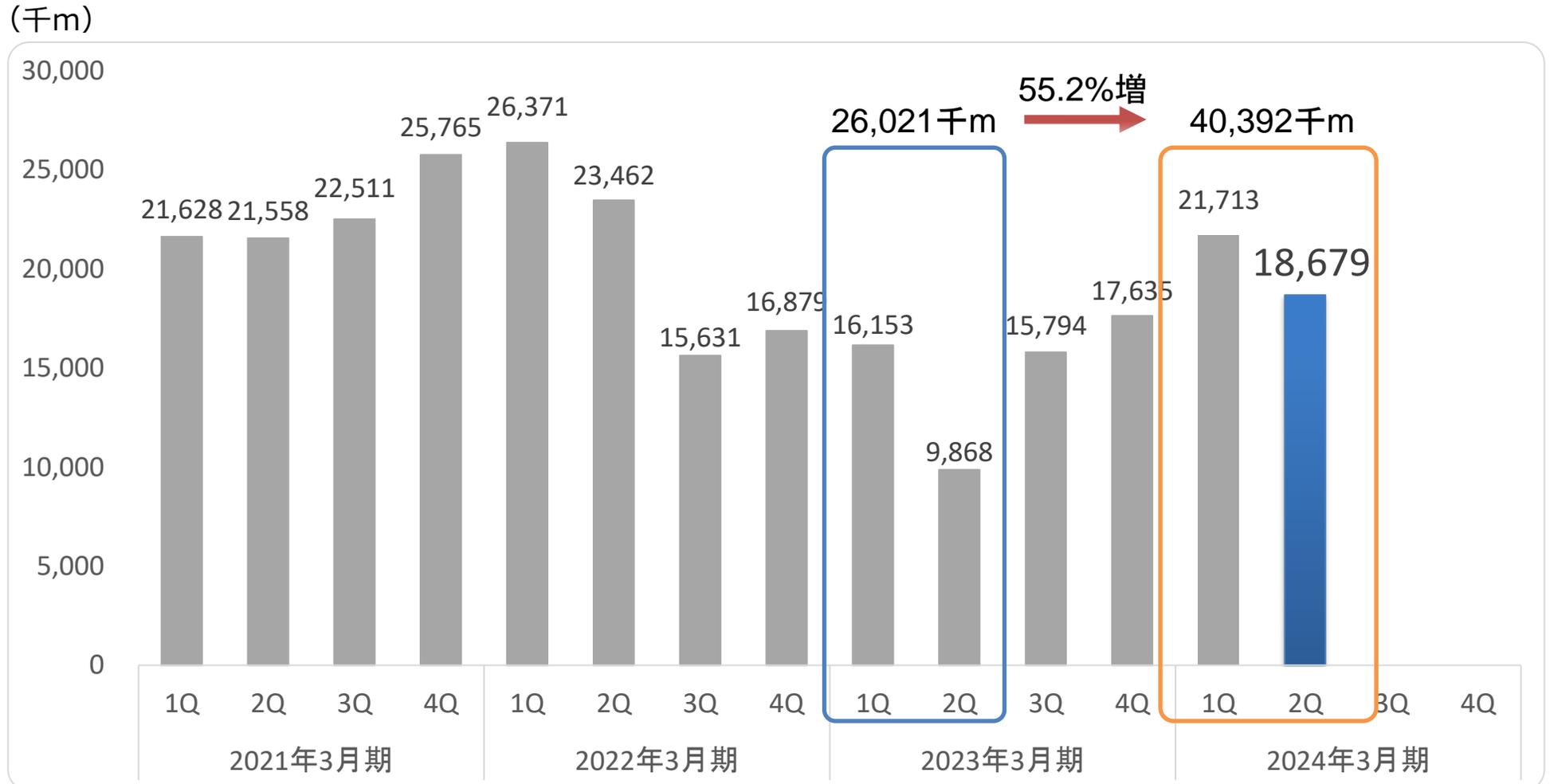
(単位:百万円)

54.0%増収・262.5%増益



- 在庫調整による大規模な減産は解消し、販売数量は4,039万mと順調に推移
- 第1四半期に続き、円安・韓国ウォン／台湾ドル高による好影響

半導体資材出荷数量推移

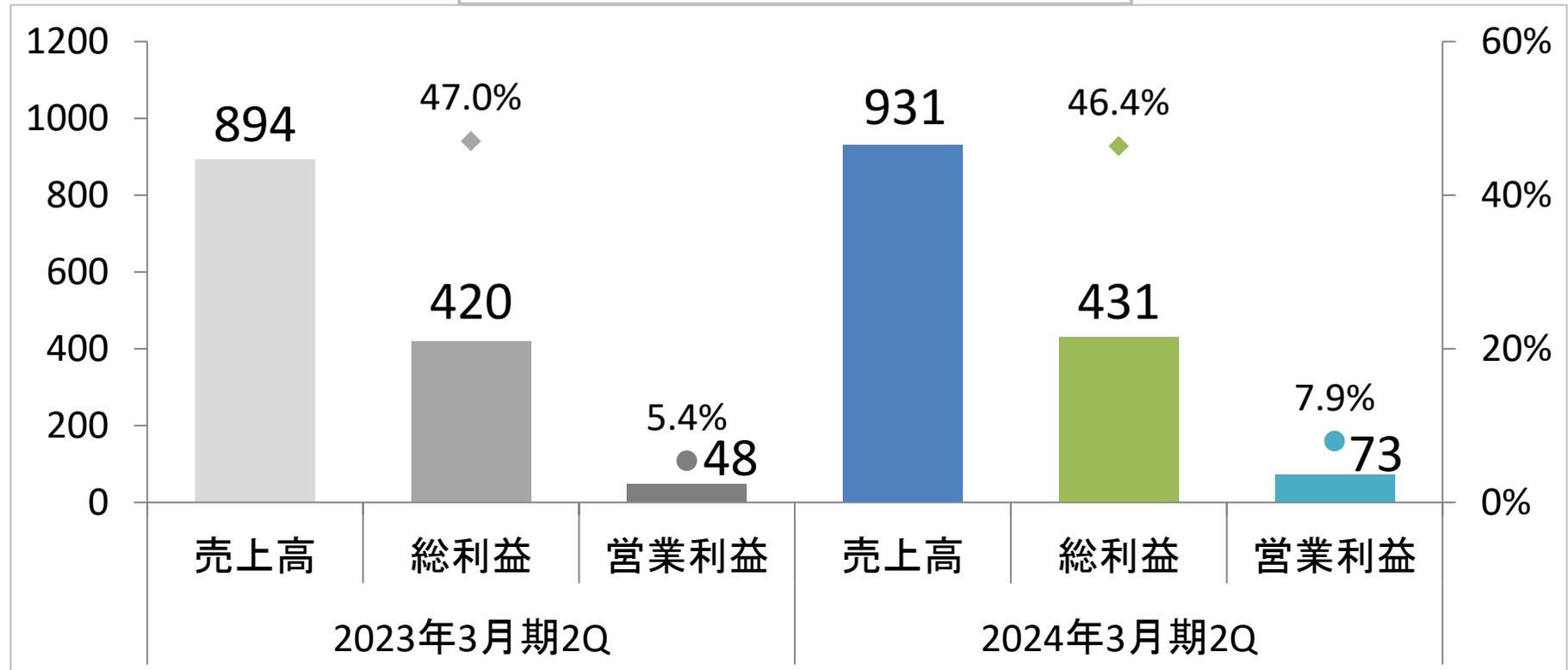


出荷数量は前年同期比55.2%増加したが、パネル価格は9月を境に下落し、足元の数量も落ち着いているため、市場動向について注視する

2. 衛生検査器材事業

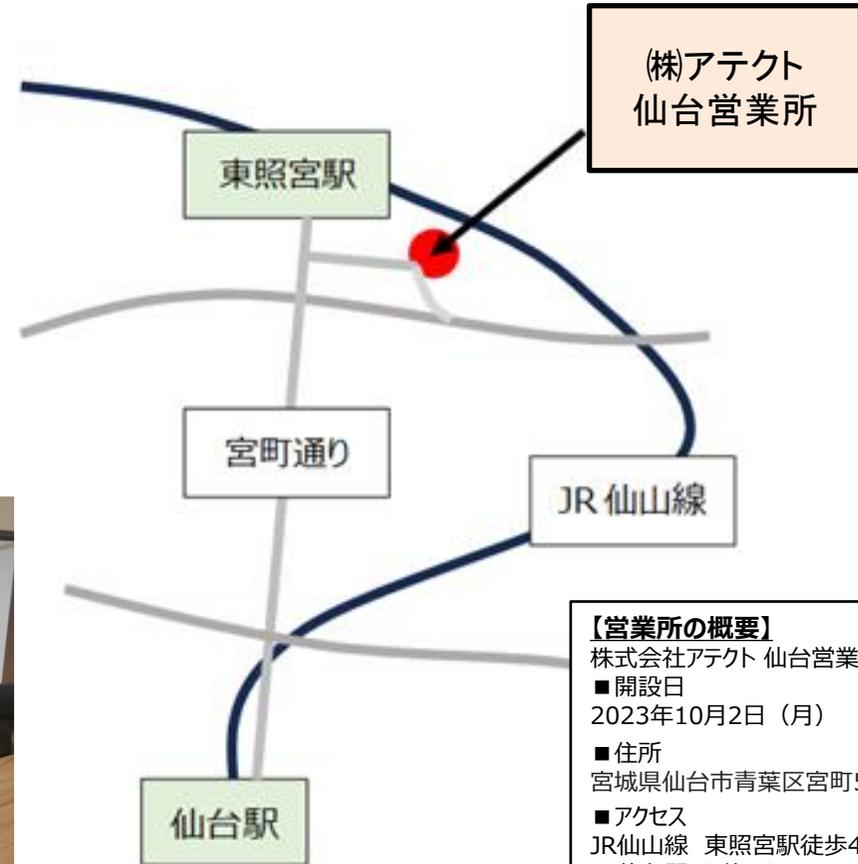
(単位:百万円)

4.1%増収・53.8%増益



- 細菌検査に関する衛生検査器材の販売は引き続き好調に推移
- PS(ポリスチレン)材の価格は高止まりが続いており、製造合理化による原価低減、販売価格の引き上げによる挽回を継続

仙台営業所開設



(株)アテクト
仙台営業所

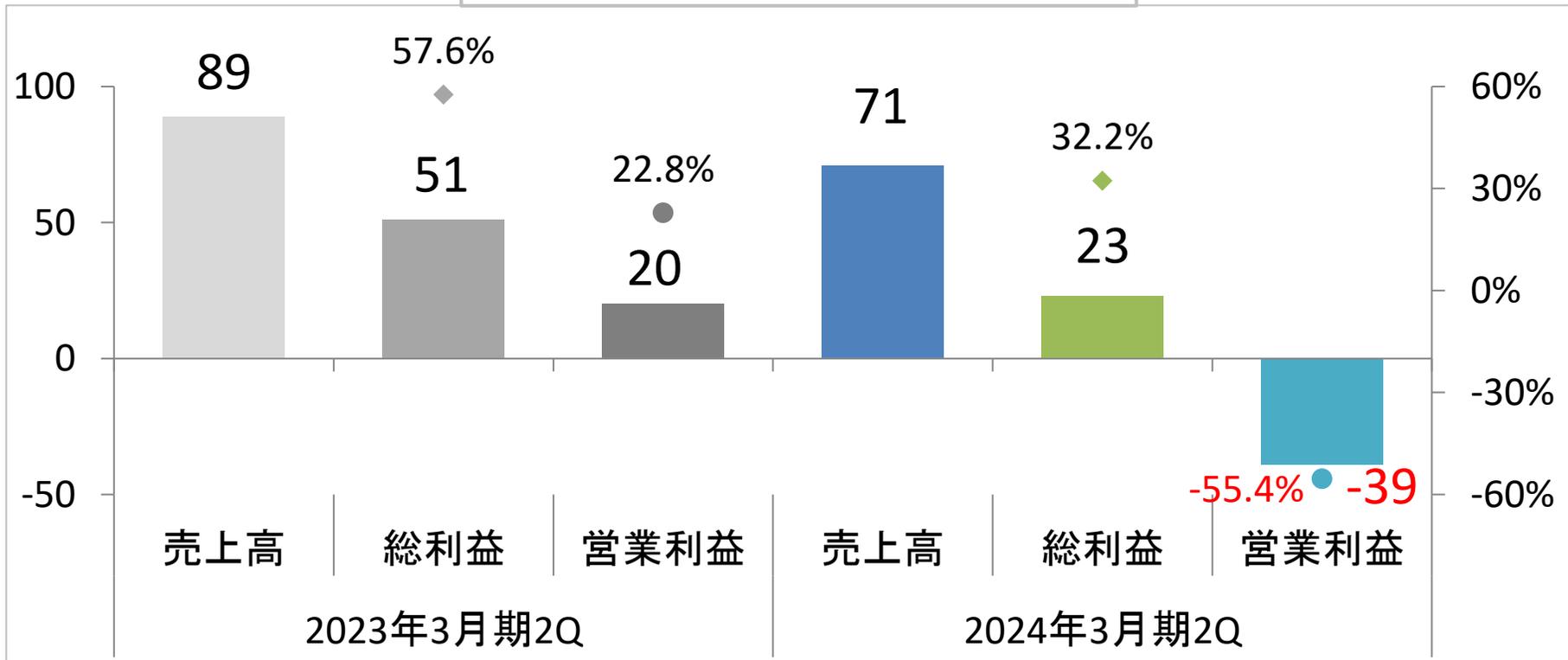
【営業所の概要】
 株式会社アテクト 仙台営業所
 ■ 開設日
 2023年10月2日（月）
 ■ 住所
 宮城県仙台市青葉区宮町5-11-1
 ■ アクセス
 JR仙山線 東照宮駅徒歩4分
 JR仙台駅より約2キロ
 ※東照宮駅は仙台駅の次の駅です

東京、大阪、福岡、静岡に次ぐ新たな拠点として仙台営業所を開設！
 『face to face』の営業を主とし、きめ細やかなフォローの出来る営業拠点として始動

3. PIM事業

(単位:百万円)

20.0%減収・294.2%減益



- 自動車用ターボ部品5アイテムは製品仕様の変更準備期間に入ったことにより、受注が断続的となった
- CMOSセンサー用セラミックス部品等の高機能部品について受注が減少
- 在庫区分の見直しによる一過性費用を計上
- 将来の自動車の電動化に向けた窒化アルミ製放熱基板の開発を継続

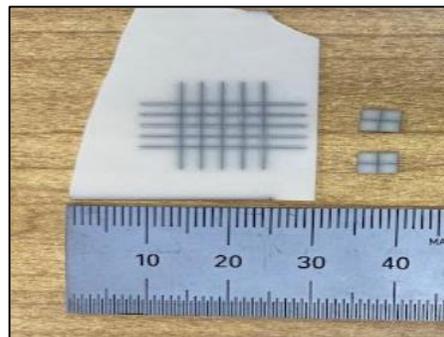
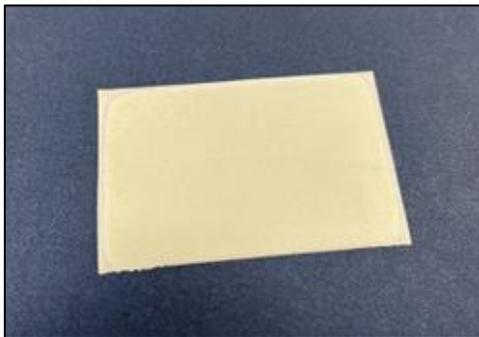
atect-AIN(窒化アルミ)について

■ 広がるセラミックス製放熱基板のニーズ



セラミックス製放熱基板は、自動車用を中心に産業機械に搭載されるインバーターや、LED用放熱基板としてのニーズ拡大が予想されている

出典：2021年ファインセラミックス材料・製品市場の展望（㈱富士経済2021）



熱伝導率や熱放射性などの基礎性能の向上はもちろん、加工技術の確立による様々なニーズへの対応と量産化技術の開発に取り組んでいる

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 事業管理部 IR担当

TEL:0748-20-3400

E-mail: ir@atect.co.jp